(変更1回) 契 約 変 更 の 内 容

契約変更年月日	令和 7年 3月27日
契約業者名	宇部工業(株)
契約業者の住所	山口県宇部市大路妻崎開作874番地の1
工事の名称	宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事
工事場所	山口県宇部市大字小串字沖の山地先
工事種別	港湾土木工事
工事概要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工期(自)	令和 6年10月 2日
工期(至)	令和 7年 4月25日
変更前の契約金額	143,000,000円(税込み)
変更金額	19,800,000円(税込み)
変更後の契約金額	162,800,000円(税込み)
変更理由	別紙変更理由書のとおり

工事数量総括表

工 事 名	宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事(変更1回)				事業区分	港湾整備
					工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
岸壁(-10m)						
構造物撤去工						(指定部分)
コンクリート構造物撤去						
現場打ち側溝	無筋	m		23		
集水橋	無筋	基		1		
給水栓	有筋	箇所		1		
排水管	有筋	m		3		
コンクリートブロック	無筋	個	0	2	2	
排水管撤去						
給水管	HIVP100	m		63		
コンクリート舗装撤去						
コンクリート舗装版	t=20cm	m ²	506	504	△ 2	
	t=35cm	m ²	479	475	△ 4	
アスファルト舗装撤去						
アスファルト舗装版	t=6cm	m ²		171		
舗装版切断						
アスファルト舗装版	t=6cm	m		65		
運搬処理工						
殻運搬	コンクリート(無筋) L=14.2km	m ³	8	10	2	
	コンクリート(有筋) L=14.2km	m ³	270	268	△ 2	
	アスファルト殻 L=14.2km	m ³	17	10	△ 7	
舗装版切断水処理						
舗装版切断水処理		式	0	1	1	
土工						(指定部分)
作業土工						
床掘①		m ³	2,832	2,687	△ 145	
床掘②		m ³	0	184	184	(夜間)
土砂等運搬①	L=0.1km	m ³	2,832	2,659	△ 173	
	L=5.9km	m ³	1,842	2,560	718	施工箇所～土砂仮置場
盛土		m ³	1,842	2,560	718	土砂仮置場
土砂等運搬②	L=9.3km	m ³	0	2,193	2,193	土砂仮置場～土砂処分場
路盤材運搬	L=9.3km	m ³	0	213	213	土砂仮置場～土砂処分場
裏込・裏埋工						(指定部分)
裏込工						
防砂シート敷設	厚4.2mm以上 引張強度880N/5cm以上	m ²	308	334	26	
漏洩防止シート敷設	ナイロン・ポリエステル系不織布厚0.24～0.34 1470N/3cm	m ²	819	857	38	
地盤改良工						(指定部分)
軽量混合処理土						
大型土のう製作・設置	耐候性 2t用 径110cm 高110cm	袋	27	50	23	
軽量混合処理設備組立・解体		式	1	1	1	
軽量混合処理設備試運転		式	1	1	1	
軽量混合処理①		m ³	1,878	589	△ 1289	(流用土使用分)
軽量混合処理②		m ³	0	1,327	1327	(購入土使用分)
土砂	真砂土	m ³	0	522	522	(購入土)
粒度処理	一次分別	m ³	409	275	△ 134	
	二次分別	m ³	0	441	441	
特許料		m ³	1,878	1,916	38	

工 事 名	宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事(変更1回)				事業区分	港湾整備
					工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
作業土工						
埋戻し		m3	665	664	△ 1	
土砂等運搬	L=5.9km	m3	665	664	△ 1	土砂仮置場～施工箇所
排水構造物工						(指定部分)
配管工						
給水管敷設①	HIVP75	m	0	14	14	給水管継ぎ手含む
給水管敷設②	HIVP100	m	63	51	△ 12	給水管継ぎ手含む(流用)
給水栓設置	φ80 TSフランジ式(TSフランジ・パッキン含む)	箇所		1		
仮設給水管設置	HIVP100	m	0	53	53	給水管継ぎ手含む
プラント用仮設給水設備	HIVP50	m	0	40	40	継ぎ手含む
排水工						
排水管設置	ヒューム管(B形管)1種 HP400 360° 巻き	m		2.5		コンクリート 1.1m3 型枠 4m2 鉄筋(D13,SD345A) 55kg 基礎砕石(RC-40,t=15cm) 2.5m2 基面整正 2.5m2
現場打ち水路設置	18-8-40(普通)	m		23		コンクリート 6m3 型枠 65m2 基礎砕石(RC-40,t=15cm) 22m2 基面整正 16m2 側溝蓋440×140×500 46枚
現場打ち集水樹	18-8-40(普通)	基		1		コンクリート 0.2m3 型枠 2.3m2 基礎砕石(RC-40,t=15cm) 0.6m2 基面整正 0.6m2 集水樹蓋(540×540,T-25) 1枚
舗装工						
路床工						
不陸整正		m2	1,176	1,170	△ 6	
コンクリート舗装工						
型枠	舗装用軌条付・高42cm,長300cm,下面幅90cm	m	169	170	1	
コンクリート舗装	曲げ4.5-2.5-40 t=35cm	m2	759	759	0	鉄網(D6,150×150) 697m2 端部補強筋(D13,SD295A) 675kg プライムコート(PK-3)
路盤	RM-40 t=20cm	m2		776		路盤 155m3
目地						
施工目地(自由縁)		m	91	92	1	目地板(樹脂発泡体t=20mm・倍率15倍) 26m2
縦施工目地		m		107		ネジ付タイバー(D32×1000) 256本 チェア(片側,D13,SD295A) 150kg クロスバー(D13,SD295A) 408kg
横施工目地		m		29		ネジ付ダウエルバー(D32×600) 74本 チェア(片側,D13,SD295A) 41kg クロスバー(D13,SD295A) 109kg
横取縮目地		m		129		ダウエルバー(D32×600) 333本 チェア(両側,D13,SD295A) 364kg クロスバー(D13,SD295A) 981kg バックアップ材 129m
水叩コンクリート	18-8-40(普通)	m2		10		型枠 0.4m2 鉄網(D6,150×150) 8.3m2

工 事 名	宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事(変更1回)				事業区分	港湾整備
					工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
路盤	RM-40 t=20cm	m2		10		路盤 2m3
目地		m		13		目地板(樹脂発泡体t=20mm・倍率15倍) 2.5m2
小口止め	18-8-40(普通)	m		4		コンクリート 0.4m3 型枠 4.4m2 基礎碎石(t=20cm) 1.7m2
舗装版切断水処理						
舗装版切断水処理		式	0	1	1	
アスファルト舗装工						
下層路盤	RC-40 t=10cm	m2	389	384	△ 5	路盤 39m3
上層路盤	RM-30 t=10cm	m2	390	384	△ 6	路盤 38m3
基層	再生粗粒度アスファルト t=5cm	m2	391	384	△ 7	プライムコート(PK-3)
表層	再生密粒度アスファルト t=5cm	m2	391	384	△ 7	タックコート(PK-4)
仮設工						
仮設ゲート						
仮設ゲート設置	H180×W12000(PC片引き戸、曲忍付)	基		1		
仮設ゲート基礎		m		25		舗装切断 52m 舗装版撤去 32m2 床掘 11m3 基礎碎石 32m2 均しコンクリート(t=5cm) 32m2 鉄筋(D10,SD345) 135kg 型枠 15.4m2 レール敷設 47m 326kg レール受敷設 17m 30kg 基礎コンクリート 8m3 As基層 t=5cm 5m2 As表層 t=5cm 5m2
仮設フェンス設置		m		2		
交通誘導警備員		式	1	1	1	
共通仮設						
共通仮設費						
準備費						
草刈り		m2		460		土砂仮置場
運搬費						
運搬費	軽量混合処理設備	式	1	1	1	往復
	クローラクレーン 150t吊	式	1	0	△ 1	往復
技術管理費						
技術管理		式		1		

工 事 名	宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事(変更1回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
調査業務						(指定部分)	
調査工							
ボーリング工							
陸上ボーリング(1)	Co版 φ86mm	m	0.4	0	△ 0		
陸上ボーリング(2)	路盤材 φ86mm	m	0.2	0	△ 0		
陸上ボーリング(3)	砂質土 φ86mm	m	0.5	0	△ 1		
陸上ボーリング(4)	改良土	m		2.5			
試料採取							
乱れの少ない試料採取	シンウォールサンプリング	回		1		上中下、3層	
土質試験		式	1	1	1		

変更理由書

1. 工事件名

宇部港沖の山地区岸壁(-10m)改良工事

2. 工期

令和6年10月2日 ~ 令和7年3月28日

3. 請負金額

当初 143,000,000円

4. 変更理由

本工事は、宇部港沖の山地区岸壁(-10m)の構造物撤去工、土工、裏込・裏埋工、地盤改良工、排水構造物工、舗装工、仮設工及び調査工を施工するものであるが、今般、以下の理由により契約内容を変更する必要が生じた。

1) 排水構造物工: 仮設排水管の追加

既設排水管を撤去することで隣接する船舶への給水が出来なくなるため、仮設排水管の敷設を追加する。

2) 構造物撤去工: 舗装版切断時の冷却排水費用

特記仕様書8-2(2)に基づき、舗装版切断時の冷却排水の処分費用について資料の提出があり、冷却排水費用を実績に合わせて精算し変更する。

3) 構造物撤去工: コンクリートブロック撤去の追加

床掘にて埋設コンクリートブロックが出てきたため、撤去を追加する。

4) 構造物撤去工: アスファルト舗装撤去厚の変更

撤去したアスファルト舗装厚が10cmではなく、6cmであることが判明したため、アスファルト舗装撤去厚をt=6cmに変更する。

5) 構造物撤去工: 撤去路盤材の処分の追加

撤去したコンクリート舗装の下層は土砂ではなく、路盤材が出てきた。路盤材は碎石のため、軽量処理土としての流用が不可であり、またコンクリート塊が混入しているため、他工種への流用も不可であるため、路盤材の処分を追加する。

6) 構造物撤去工、排水構造物工: 給水管の管径の変更、排水工: 止水弁復旧の追加

撤去する既設給水管の管径がφ75ではなく、φ100である事が判明したため、仮設配管及び復旧の給水管の管径はφ100に変更する。
施工範囲内に既設の止水弁及びボックスが設置されているが、老朽化が激しいため、復旧として新設の止水弁及びボックスの設置を追加する。

7) 地盤改良工: 過年度施工(グラベルドレーン及びバイプロロッド工法)による碎石の影響による軽量混合処理土の変更

過年度施工(グラベルドレーン及びバイプロロッド工法)による碎石の影響範囲が判明し、地盤改良に必要な軽量混合処理土が一部流用不可となった。そのため、流用不可の土砂処分と不足する軽量混合処理土の購入を追加する。

- 8) 調査工:土質調査の変更
地盤改良に使用する軽量混合処理土に購入土が追加となったため、土質調査を変更する。
- 9) 地盤改良工:地盤改良工の施工方法及びプラント運搬費の変更
地盤改良工の施工について、施工性から打設方法をポンプ車打設からクレーン打設に変更し、使用するクレーンの規格をクローラクレーンからラフテレーンクレーンに変更する。(運搬費の削除)
軽量混合処理打設には大量の水を使用するため、仮設水道管による水使用量を追加する。
プラント運搬箇所は、愛知県豊田市から和歌山県和歌山市等に変更する。
- 10) 土工:潮待ちによる土工の夜間作業の追加
土工 掘削作業において海水が掘削箇所に侵入してくるため一部で潮待ち作業が必要となる。潮待ちがない長期の作業確保時間が一部夜間となるため、土工の夜間作業を追加する。
- 11) 地盤改良工:軽量混合処理土の配合
特記仕様書8-5(5)に基づき、軽量混合処理土の配合(流用土、購入土)を変更する。
- 12) 裏込・裏埋工、地盤改良工、舗装工:上部コンクリート及び裏込石の断面変更による
既設の護岸、上部コンクリート及び裏込石の設計断面の相違が判明したため、裏込・裏埋工、地盤改良工、舗装工の施工数量を変更する。
- 13) 地盤改良工:大型土のう設置個数の変更
土のうを安定させる為に土のう天端部分に重機で圧力をかける必要があり、土のうの中の土砂の収縮等され、H=1.1mが実寸法はH=0.7m程度になる。そのため設計27袋から50袋に変更する。
- 14) 施工期間延伸、指定部分追加
地盤改良工の施工にあたり、プラント搬入が前使用工事の遅れにより搬入が約1ヶ月遅れることになった。工程遅延を取り戻すべく、工程検討を行ったが、工事期間内の完了が困難となったため、本工事の工期を令和7年4月25日まで延伸する。また、隣接岸壁に接岸する貨物船舶は本工事施工箇所にある給水栓を4月から使用する必要があるため、構造物撤去工、土工、裏込・裏埋工、地盤改良工、排水構造物工及び調査工については、令和7年3月28日まで指定部分を設けることとする。